

私の運転履歴書

志村 良知

先日、運転免許証の更新をした。

高校1年の夏休みに、当時は16歳からだった軽四輪免許を取りに教習所はパスして運転免許試験場に直接行った。当然、簡単には合格させてくれない。「S字で速すぎた」「路側帯を踏んだ」「ハンドルの持ち方が悪い」などと難癖としか思えない理由で3回落とされ、結局取得には夏休み一杯かかってしまった。普通免許への昇格試験は大学1年の夏休みに1発だった。しかし、車が必要というわけではなく、ペーパードライバーでレンタカー時代が長かった。

沼津に転勤し車通勤となり、最初のマイカーとしてパルサーに乗った。車歴7年目のとき深夜の帰宅時に免許取りたての女の子の暴走車に側面衝突された。2台とも廃車で怪我人無しという奇跡のような事故だった。弁償は時価相当ということで、中古カローラを貰ったが、そんな車には嫌気しかない。TVCMで話題のセフィーロを見に行った販売店で、脇にあったK-13シルビアに家内共々一目ぼれ、ターボ付きマニュアル車にオプション装備を全部付けてその場で注文した。その年のカーオブザイヤーとグッドデザイン大賞を獲得した超人気車で四か月待ち。納車に合わせて休暇を取り、東名・名神を西へ、山陰・山陽・四国をドライブ、気分は最高だった。往復30キロの通勤も楽しくなり、6年間8万キロ走り、海外赴任でお別れ。

任地ではBMWに乗った。フルモデルチェンジで型落ちになる展示車を現金で引き取ってくれるなら消費税分は要らないという。消費税は18パーセントだったので100万円を超える。そんな条件飲まない理由はない。濃紺ボディに白い革シートに木目調の内装、オプション装備全部付き。BMWの直列6気筒エンジンを左ハンドルのマニュアルで操るという、日本にいたら夢に見るだけの車、即決した。7年間で12万キロ走り、そのうちの8万キロは遊びだった。時速200キロ超も経験した。

今はATのフィットで12年目、走行は5万キロに満たない。